

夢を育む次世代バイク

ヤマハ発動機は、アートという言葉にモノ創りの想いを込め、モノ創りの中に感性の世界を表現したいと考えています。例えば、モーターサイクルで走るとき、カーブで身体を傾けるのがどうしてあんなに楽しいのか言葉で言い表すのは難しいものです。体に伝わってくるエンジンの鼓動が心地よく感じるのはなぜなのか。アクセルを操作する手

の動きがタイヤの回転とダイレクトにつながったように感じたときの、なんともいえない幸福感はどこからくるのか。その一瞬、そこにある大きな感動の体験を、ヤマハ発動機はいつも特別な想いで受けとめています。そして、その実現に向けテクノロジーを追求し、人間の感性に訴える性能とデザインの融合を目指しています。



EC-03*¹

「EC-03」は、「ライト・スマート・クリーン&サイレント」をコンセプトに、薄型の電動パワーユニットとリチウムイオンバッテリーを軽量アルミフレームに搭載した、100%電気エネルギーで走るエレクトリック・コミューターです。充電器を車両内に内蔵したプラグイン方式で、家庭用コンセントから手軽に充電できます。

EC-f*¹



EC-fs*¹



「EC-f」と「EC-fs」は、オートバイ経験や世代を問わず多くの人に二輪車の楽しさや親近感を抱いていただこうと、電動ならではのシンプルで、未来感のあるスタイリングを採用したエレクトリック・コミュータービークルです。扱いやすく、静かで滑らかなので、気負うことなく走行が楽しめます。



PAS er^{*2}

「PAS er(パス エア)」は、「人間」と「モーター」のハイブリットの進化形をコンセプトにした電動アシスト自転車です。前後輪ともモーターがアシストする二輪駆動方式と、電動自動変速機の採用により、路面や走行環境に変化があってもスムーズで快適な走行を実現しました。



HV-X^{*3}

「HV-X」は、モーターサイクルのサイズにコンパクトに収めたハイブリッドシステムにより排出ガス低減や燃費向上など地球環境に配慮しながら、上質な加速感や優雅なクルージングを楽しめます。



Super Ténéré^{*4}

「Super Ténéré(スーパーテネレ)」は、「タフな国境越えを難なくこなすベストツーリングギア」をコンセプトに企画されました。世界で最も過酷なラリーのひとつ「ダカール」を1980～90年代に牽引し、欧州で高い支持を獲得した「Ténéré」スピリットを継承したニューモデルです。長距離ツアー性能から未舗装路までの走行性、コーナリングでの爽快な走行性など、大陸横断ツアーで要求される機能のバランスを高いレベルで実現しています。

Note

*1、*2、*3は、おのおの、「第41回東京モーターショー2009」に出展した参考出品車、その他出品車、その他展示物です。*4は、2010年欧州向け市販ニューモデルです。